

表1-1 労働安全衛生対策として実施している事項

実施項目	具体的な実施内
1. 管理体制	①不安全行動・状態の撲滅 ☆現場責任者の行動観察による危険要因の排除 ☆ヒヤリハットの体験表提出、提案 ☆安全パトロールの実施 ☆危険物の表示と取扱者の限定 ☆指差し呼称の徹底 ☆協力作業の合図の徹底 ☆配置転換など適正部署への異動
	②委員会等での指摘事項の改善と徹底 ☆指摘事項のフォローと記録 ☆各部門からの代表者会議を毎月1回開催し、安全対策の検討 ☆過去に発生した災害の原因を分析し、同種災害の防止
	③安全衛生委員会活動の充実 ☆5Sの評価項目の検討、評価と改善
	④各種資格取得者の充実 ☆社外講習会へ計画的に参加し資格者拡充
	⑤年間の安全衛生管理計画の策定と実施 ☆年間スケジュールに従いチェックとフォロー
2. 設備管理	①設備の安全化 ☆機械設備の保守点検の励行と処置の記録 玉掛けワイヤー、チェーンの総点検、配電盤、配線、スイッチの点検、フォークリフト、クレーンの点検、保護カバー、治工具点検 ☆始業時の安全点検
	②新設・改善設備の安全仕様の明確化と安全検収の実施 ☆設備故障対策の推進 ☆点検シートに従い危険要因の排除
3. 作業管理	①標準作業書の完備と活用 ☆段取り、修理作業等の標準化 ☆運転操作等の作業マニュアル作成
	②保護具着用の徹底 ☆着用基準の設定と掲示、保護具の点検、着用状況の確認
	③重筋作業等の改善と対策 ☆極力機械への代替シフト
4. 環境管理	作業環境評価に基づく改善 ☆5S活動の推進 工程内不要品の片づけ、床面の油污れ防止、特定日(例:第3土曜日)には堆積粉塵の除去道具棚の見直し改善 ☆温湿度、照明、騒音、粉じん等の測定と改善
5. 健康管理	健康づくりの実施 ☆生活習慣病、じん肺検診等の各種健康診断の実施 ☆ラジオ体操、ストレッチ体操による体力強化 ☆体力測定の実施 ☆保健師による健康相談
6. 教育訓練	①標準作業書に基づく実地訓練 ☆各作業現場、現物による教育訓練
	②KYTの活発化 ☆社内教育の実施と手法の実践 危険予知訓練を実施しながら危険箇所の発見
	③安全教育の徹底 ☆雇い入れ時、配置転換時等の安全教育の徹底 ☆ビデオによる教育と感想文の提出
7. 安全意識高揚	①目標、スローガンの設定と徹底 ☆安全デー、安全週間や安全月間を設けメリハリをつける ☆ポスター・ステッカーの掲示
	②朝礼の活用 ☆ヒヤリハットの体験発表、労災防止の心がけを順番に一言、管理者からの安全訓話 ☆安全スローガンを指差し呼称
	③無事故の表彰 ☆班毎に無事故班の表彰、また、無災害者の表彰
	④全員のミーティング ☆定期的にミーティングを実施
	⑤制服に安全ワッペンを付ける
	⑥無災害記録の累計時間の表示
	⑦「安全だより」を毎月発行
	⑧安全衛生標語の募集・掲示
	⑨提案箱の設置 ☆改善の提案制度の導入
	⑩当番制による安全委員 ☆全従業員が輪番により安全委員を担当